

## English Garden 第63話

"I wish I had / A pocket like that!"  
Translated by the Empress Michiko

「そんな ふしぎな / ポケットがほしい」  
まど みちお

今回は日本語の詩を英訳された皇后陛下美智子さまのお話です。

皇后陛下は昨年9月、国際児童図書評議会(IBBY)世界大会でビデオによる講演をされてから(English Garden 54参照)、児童文学者としての側面がマスコミでも紹介されることが多くなりました。表題の詩は、童謡としてもよく歌われている、まど みちお作「ふしぎなポケット」の一節です。この詩を含む14の詩を集めた詩集が、「The Magic Pocket」(「ふしぎなポケット」)のタイトルで1998年6月、美智子さまによる2冊目の英訳書として、対訳の形で出版されました。(安野光雅 絵、すえもりブックス発行)



まず全体をご紹介します。

ポケットの なかには	Inside the pocket
ビスケットが ひとつ	There's one cookie.
ポケットを たたくと	Hit the pocket,
ビスケットは ふたつ	There are two!

もひとつ たたくと	Hit it again,
ビスケットは みっつ	There are three.
たたいて みるたび	The more I hit it,
ビスケットは ふえる	The more there are!

そんな ふしぎな	I wish I had
ポケットが ほしい	A pocket like that!
そんな ふしぎな	I wish I had
ポケットが ほしい	A pocket like that!

日本語のリズムがそのまま英語に置き換わったような、実に快い響きを持った訳詩です。  
次は「ひよこちゃんの やまのぼり」の一節。

ひよこちゃんが  
ふたりでやまのぼり  
おやまはどこよ  
おかあさんのせなか  
おかあさんのせなか

これは次のように訳されています。

Two little chickens  
Climbed up a hill.  
Where's the hill?  
"There! Mommy's back.  
Mommy's the hill."

ふと、「Mother Goose」を連想するようなやさしい口調です。

1冊目の訳詩集は、同じくまどみちおさんの詩による"The Animals"('どうぶつたち'安野光雅 絵、1992年すえもりブックス発行)です。これは皇后さまが日本国際児童評議会の依頼を受けて、ご自分でまどみちおさんの詩の中から20編を選んで訳し、構成されたもので、お手作りの小冊子が1990年、国際アンデルセン賞の国際審査委員会に送られ、その結果まどみちおさんの受賞がきました。皇后さまのすぐれた訳詩が大きく貢献したのは言うまでもありません。「まるでまどさんが英語で詩を書いたようだ」という最高の賛辞が贈られました。日本の子どもたちのための詩が海外に紹介されたのは、おそらくこれが初めてであるということです。しかも、児童文学のノーベル賞ともいわれるこの賞を、詩人が受賞したのも初めてです。

詩の翻訳は詩人でなければできなるとよくいわれますが、それも外国の詩を母国語にする場合であり、母国語の詩を外国語に訳すのは、なおいっそう難しい作業です。歌人としての美智子さまのすぐれた感性がこれらの訳詩からも十分感じとれると思います。

次に"The Animals"の中から、最初の「ことり」と、童謡としてよく親しまれている「ぞうさん」をご紹介します。どうぞ声を出して読んでみてください。

### ことり

そらの / しずく?	A dewdrop / from the sky?
うたの / つぼみ?	A bud / of a song?
目でなら / さわってもいい?	May I touch you / Just with my eye?

### A Little Bird

### ぞうさん

### Little Elephant

ぞうさん "Little elephant,  
ぞうさん Little elephant,  
おはなが ながいのね What a long nose you have"  
そうよ "Sure it's long.  
かあさんも ながいのよ So is my mommy's."

ぞうさん "Little elephant,  
ぞうさん Little elephant,  
だあれが すきなの Tell me who you like."  
あのね "I like mommy.  
かあさんが すきなよ I like her the most."

この文書の著作権は株式会社富士通アドバンスソリューションズが保有します。許可なく複製、転用、販売などの二次利用することは禁じます。雑誌書籍、広告など出版物への掲載にあたっては、お手数ですが、事前にご連絡願います。